

あの日、あの時

第5回 平和への願い

市のさまざまな情報を発信している広報なりた。当時の出来事や取り組みが記された紙面からはその時代のまちの空気が伝わってきます。ここでは、これまでに発行された広報なりたを通して、まちの歩みを振り返ります。



初回は12万5,000羽が寄せられる(平成21年9月1日号から)

非核平和都市宣言

平成7年2月21日宣言

世界の恒久平和は、全世界の人々の共通の願いである。

我が国は世界で唯一の核被爆国として、広島・長崎に原爆が投下されて本年で50年目を迎える。

我々は、被爆者の苦しみを全世界の人々に訴え、再びこの地球上にあの惨禍を繰り返すことのないよう強く望むものである。

このため、平和を希求する我々成田市民は、我が国の国是である非核三原則が完全実施されることを願い、全世界の人々と共に、核兵器の廃絶、恒久平和確立のためここに「非核平和都市」を宣言する。

世界連邦平和都市宣言

昭和33年10月31日宣言

成田市は、宗教観光都市として、世界連邦建設の趣旨に賛同し、自ら永遠の平和都市となることを決意し、全世界の恒久平和確立と人類の福祉増進に努力せんとするものである。

右宣言する。

8月15日は「終戦の日」。戦争の記憶を振り返り、平和の大切さについて改めて考える日です。

市では、自ら永遠の平和都市となることを決意し、昭和33年に「世界連邦平和都市宣言」を、また世界の恒久平和の確立や核兵器の廃絶を願い、平成7年に「非核平和都市宣言」を行っています。

こうした平和への願いは、戦争体験を語り継ぐ活動をは

じめ、現在もさまざまな取り組みへと受け継がれています。

21年には市民の皆さんの思いの込められた折り鶴を広島・長崎に届ける「折り鶴平和プロジェクト」がスタート。これまでに市に寄せられた折り鶴は約161万2,000羽に上ります。

時代が移り変わっても、平和への願いは変わりません。その思いは、市民の皆さんの行動を通して、今も受け継がれています。

令和8年8月15日号 No.1561



成田市のホームページ
<https://www.city.narita.chiba.jp>

*QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です

*本紙は8月3日時点の情報を掲載しています。最新情報は各ページの問い合わせ先や市ホームページで確認してください。

編集後記

8月31日は「野菜の日」。皆さんは、食事に野菜を取り入れていますか。この時期の野菜には夏バテ予防に効果的な栄養がたっぷり含まれています。私が好きな夏野菜は、ナスとピーマン。どんなレシピでもおいしく仕上がりますが、お気に入りには焼き浸しです。焼き目を付けて、めんつゆに浸すだけで完成。さっぱりしているのに旨味がぎゅっと詰まっていて、あっという間に食べ切ってしまいます。皆さんもぜひ作ってみてくださいね。

リサイクル適性
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

広報なりたは、グリーン購入法に基づく基本方針の判断基準を満たす用紙、誰にでも読みやすいUD(ユニバーサルデザイン)フォントを使用しています。